

展示品の 見どころ

もく が し たんのき きょく

木画紫檀碁局

正倉院北倉

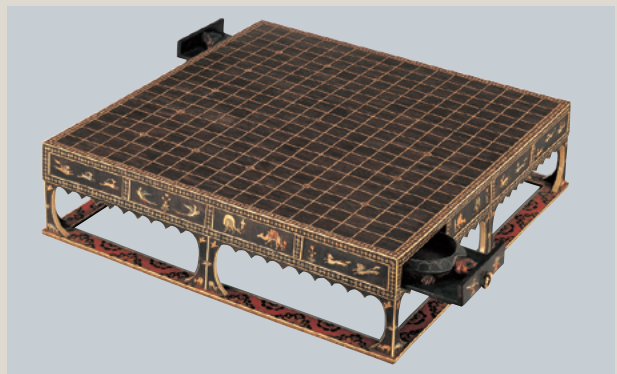
縦49.0cm 横48.8cm 高12.7cm

8世紀

碁(囲碁)は盤と黑白2種の石を使って、盤面で陣取り合戦を繰り広げる遊びである。古代中国で成立し、日本には朝鮮半島を経て6世紀には伝わっていたと考えられている。天平時代には貴顕や僧侶の間で愛好され、双六などととも盤上の遊戯として楽しまれたようである。

本品は、宝庫に伝わる3つの碁盤の内の1つで、中でも最も細工や技巧が凝らされたものである。『国家珍宝帳』記載の「木画紫檀碁局一具(牙花形眼牙床脚 局両辺着環 局内蔵納碁子 亀形器納金銀亀甲盒)()内割書」と記述が符合し、そのものに当たると考えられる。

南方産のシタン材をふんだんに用い、盤面の界線は象牙、17個の花形の星は花心をツゲ、花卉を象牙で表している。各側面は4区にわかれており、ラクダを引く人物や狩猟文様など異国情緒あふれるモチーフが散りばめられる。これらは象牙を切り抜き、毛彫りを施して彩色を加えた精妙なものである。盤面及び側面の縁は、ツゲ、コクタン、象牙等を用いて菱形繋ぎ文を作り、木画技法で表している。脚部は格狭間を透かし、側面同様象牙を



細工して山岳、飛鳥、獣が表されている。畳摺は象牙で縁取りを行ない、上面は金箔を押し、丹地に朱・緑・紺などで宝相華文を表して、その上から半透明の物質を貼り付けている。畳摺の側面には菱形繋ぎ文を木画で表している。

側面左右の対角線上の各1区は、金銅製の釦を着けた引き出しとし、内部に亀形の碁石入れが配される。この引き出しは一方を引くともう一方も引き出されるようクランク状の仕掛けが施されていて、古代の技術の高さがうかがわれる。

本品は、その装飾といい、機能に富んだ仕組みといい正倉院宝物中屈指の出来映えを示しており、聖武天皇御遺愛の品というのも大いにうなずかれる逸品中の逸品である。

(当館研究員 清水健)

※第57回「正倉院展」は10/29～11/14。会期中無休。

●館内イベント情報(10～12月)●

■シルクロード・プロジェクト 10月8日(土)～12日(水)
シルクロード・アンサンブルによるミニコンサートほか
開演時間不定期、無料(展覧会場での演奏は観覧料金のみ要)

■バロック音楽の夕べVol.VI 10月28日(金)
明治時代の優美な建物内で聴くバロックの名曲
18時30分開演、5,000円(正倉院展入場券付き)

■声藝舎公演 オペラ『仏陀 求道の人』 11月5日(土)
悟りへの道をオペラで...
19時30分開演、5,000円(正倉院展入場券付き)

■雅楽の夕べ 11月11日(金)
間近に聴ける雅楽「南都楽所」の演奏
17時開演、2,000円(予定)

※いずれのイベントも詳しくは当館ホームページ、もしくは下記までお問い合わせ下さい。TEL 0742-22-7771

開館予定(10月～12月)

■開館時間 9時30分～17時(ただし、10月7日～11月11日までの毎金曜日および12月17日(土)は19時まで開館)。「正倉院展」の会期中は9時～18時まで開館
※ いずれも入館は閉館の30分前まで

■休館日 月曜日(ただし、「遣唐使と唐の美術」および「正倉院展」の会期中は無休)
10月10日(月・祝)は開館、10月11日(火)は本館のみ開館(無料観覧日)、
10月13日(木)は臨時休館
12月26日(月)～平成18年1月1日(日・祝)は年末・年始休館日

■観覧料金

特別展 遣唐使と唐の美術

	大人	大学・高校生	中学生以下
当日	1,300円	900円	
団体	1,100円	800円	無料

*団体は責任者が引率する20名以上。

特別展 金沢文庫の名宝
特別展 東大寺公慶上人

	大人	大学・高校生	中学生以下
当日	1,000円	700円	
前売・団体	900円	600円	無料

*両方の特別展および平常展もご覧いただけます。

特別展 第57回正倉院展

	大人	大学・高校生	中学・小学生
当日	1,000円	700円	400円
前売・団体	900円	600円	300円

*特別展観覧料金で平常展もご覧いただけます。

平常展・特別陳列

	大人	大学・高校生	中学生以下
一般	420円	130円	
団体	210円	70円	無料

*団体は責任者が引率する20名以上。



[交通案内] 近鉄奈良駅から徒歩15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅からバスで「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒(90円切手貼付、宛名明記)を同封して、当館の情報サービス室にお申し込みください。



奈良国立博物館

Nara National Museum